YAMAHA	パスバッテリーボックスアッセンブリ **取扱説明書**	適 応 機 種 PZ24LS/PZ26LS、 PZ24LL/PZ26LL

はじめに

◘お 客 様へ

お買い上げ誠にありがとうございます。
本書にはPASバッテリーの正しい取扱方法と注意事項について説明してあります。商品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、ご不明な点は販売店にお問い合わせください。
本書は、PASの取扱説明書および本品の取付に際して取り外した部品と一緒に保管してください。PASを譲られるときは、この説明書もお渡しください。

◘販売店様へ

本製品の商品説明および取り扱い上の注意点を、お客様に充分ご説明いただくようお願い申し上げます。
本書および本品の取付に際して取り外した部品は、必ずお客様にお渡しください。

本書では正しい取り扱いに関する事項を下記のシンボルマークで表示しています。

⚠警 告 **取り扱いを誤った場合、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。**

⚠注 意 **取り扱いを誤った場合、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。**

要　　点 正しい取扱方法や、作業上のポイントを示してあります。

バッテリーのリサイクルにご協力ください。

リチウムイオンバッテリーはリサイクル可能なバッテリーです。寿命がきて使用済みになったバッテリーは、お買い求め販売店で回収リサイクルしてもらってください。小さな積み重ねが地球の限られた資源を有効活用します。

ご　使　用　の　前　に

⚠警 告

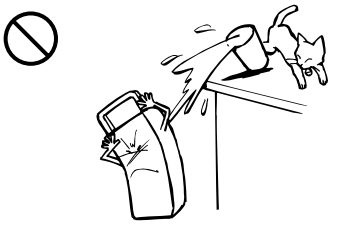
ご使用前に、車両本体付属の取扱説明書をよくお読みいただきご理解の上、ご使用ください。

バッテリーボックス取扱上の注意

⚠警 告

- **バッテリーボックス底部の接点にものをつめたりショートさせないでください。**
  （接点部にものをつめると接触不良により使用できなくなることがあります。また、針金などでショートさせると感電または故障の恐れがあります。）

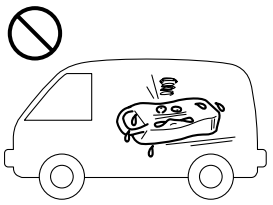
- **バッテリーボックスに水をかけたり、水中に投下しないでください。**
  （バッテリーボックスに水をかけるとショートし、感電の原因になります。また、水中に投下すると電池機能を失い、使用できなくなります。



- **バッテリーボックスを火中に投げ入れないでください。**
  （バッテリーボックスを火中に投げ入れると破裂の恐れがあり大変危険です。使用済バッテリーボックスはお買い求め販売店で必ずリサイクルしてください。）

⚠注 意

- バッテリーボックスを自動車内に放置しないでください。



- バッテリーボックスを落としたり、強い衝撃を与えないでください。
（バッテリーボックスが破損したり、断線の原因になります。特に階段の角にぶつけたり、運搬時に引きずったりしないでください。）

- バッテリーボックスを分解しないでください。
（バッテリーボックスを分解すると故障の原因になります。分解しないでください。）

⚠注 意

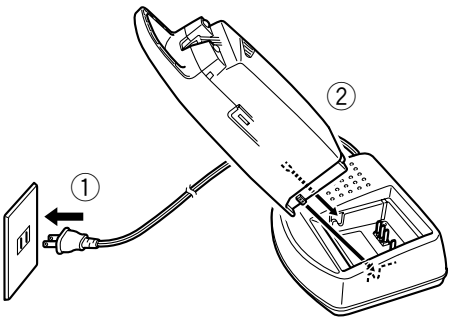
- 傷ついたバッテリーボックスは使用しないでください。
（万一、バッテリーボックスを落下させたり、ぶつけたりして破損したまま使用すると故障の原因になります。必ず。お買い求め販売店で点検を受けてください。）

- バッテリーボックスを他の電気製品に使用しないでください。
（バッテリーボックスはPAS専用です。他の電気製品に使用すると破損することがあります。PAS以外の用途には絶対に使用しないでください。）

- PZ24LL／26LLのバッテリーを単品で海上輸送、空輸される場合、輸送危険物に該当します。輸送をする際は、お買い求めの販売店または、（株）ワイズギアまでお問い合わせください。

使　　用　　方　　法

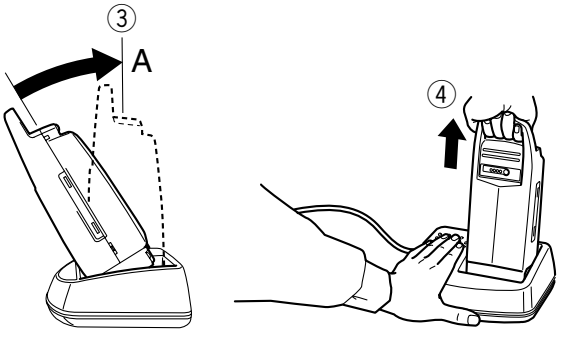
1.バッテリーを車両本体より取り外します。
2.充電器の電源プラグを家庭用のコンセント（100V）に差し込みます。①
3.バッテリーを斜めにして充電器に差し込みます。②
4.バッテリーの上部をAの方向へ押すようにして、確実に接続します。③
5.バッテリーボックス側の残量ランプが点灯し、現在の1つ上の残量を表示して充電が開始されます。（残量ランプについては次頁を参照）



要　　点

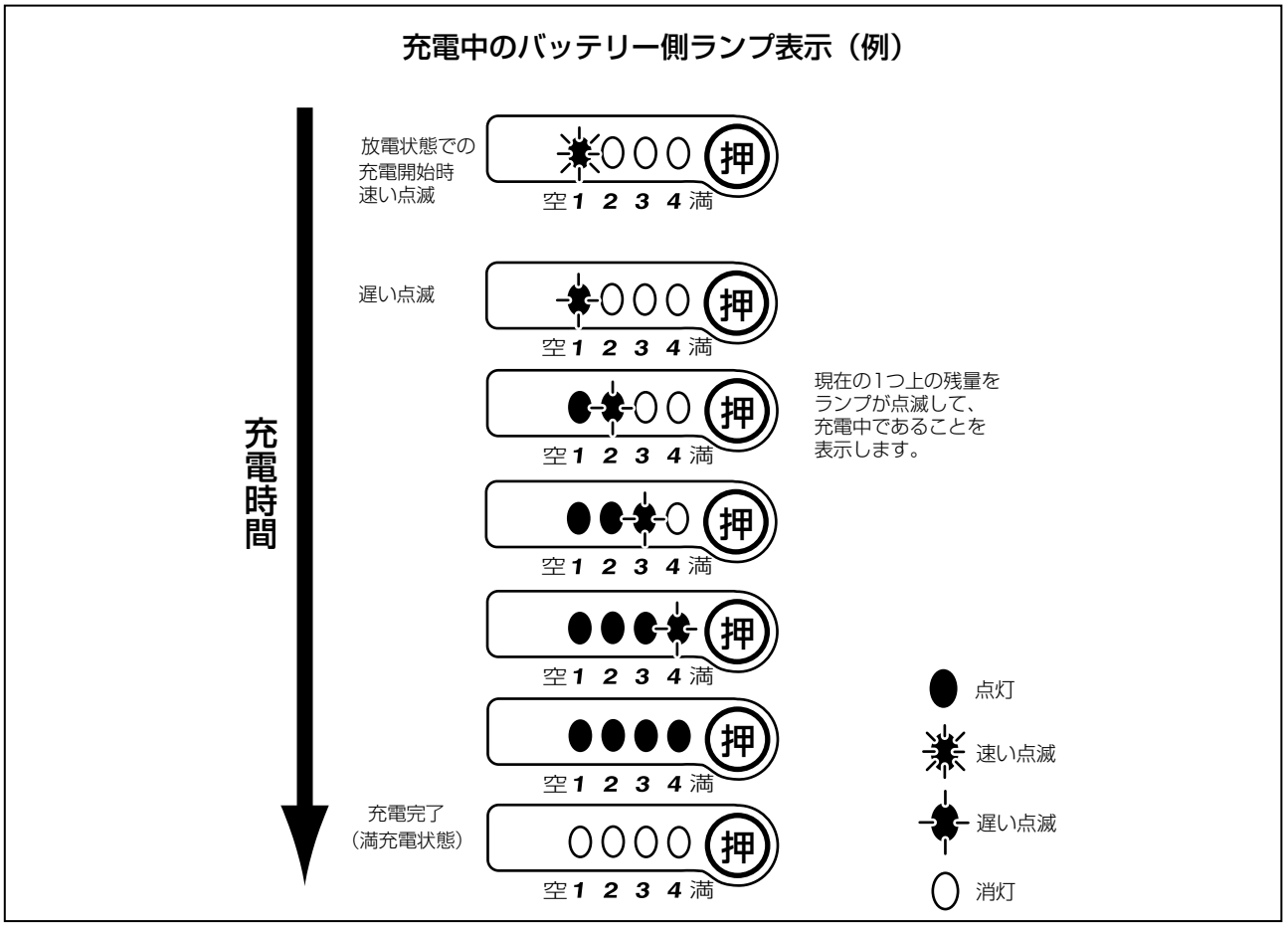
- 充電器を電源（家庭用100Vコンセント）とバッテリーに接続すると、自動的に充電を行ないます。
- 充電が完了すると充電器の電源は自動的に切れます。

6.充電器からバッテリーを取り外します。④
7.充電器の電源プラグを家庭用のコンセントから抜きます。
8.バッテリーを車両本体に組み付けます。



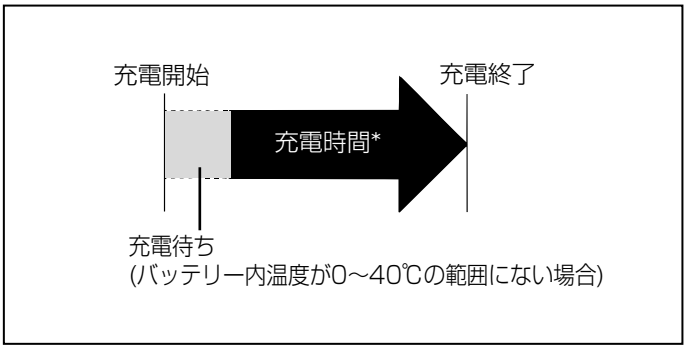
要　　点

- 充電器に水がかかったり、ほこりが溜らないようにしてください。
- 充電をしていない時は、充電器の電源プラグをコンセントから抜いておいてください。



充　電　時　間

●充電時間



充電時間は、充電前の走行状態やバッテリー残量、外気温により異なりますが、残量ランプ点滅まで乗るとPZ24LS/PZ26LSの場合は、約2時間です。
（PZ24LL/PZ26LLは、約4時間です。）

*バッテリーが完全に放電してから（空の状態）の充電に要する時間は、PZ24LS/PZ26LSの場合、約2時間15分です。
（PZ24LL/PZ26LLは、約4時間30分です。）

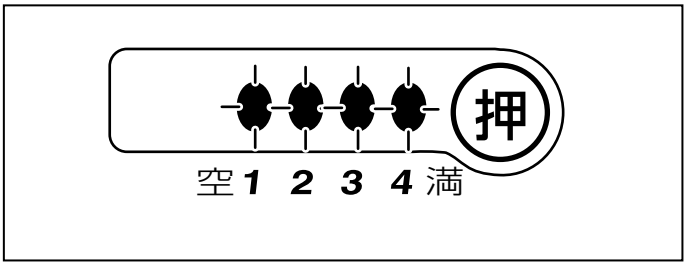
⚠注 意

充電中、異常に気がついたら直ちに充電を中止してください。

次のような現象が現われたときは、バッテリー温度環境の変化によるもので、バッテリーの異常ではありません。

[4灯同時に遅い点滅]

- 充電待機中
  充電開始時にバッテリー内の温度が0～40℃の範囲内にない場合に、バッテリー残量ランプが4灯同時に点滅します。

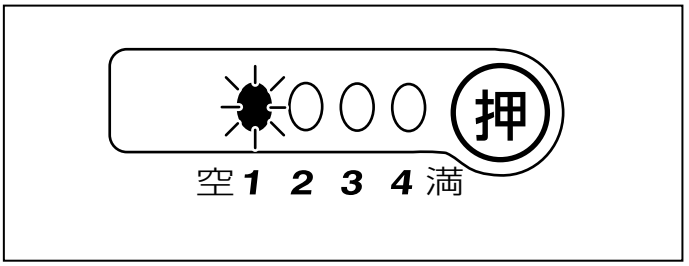


要　点

- バッテリー内の温度が充電できる温度になると自動的に充電が開始されます。この場合は、ランプが4灯同時に点滅していた時間分だけ充電時間は長くなります。
- 走行直後はバッテリー温度上昇のため、充電できない場合があります。

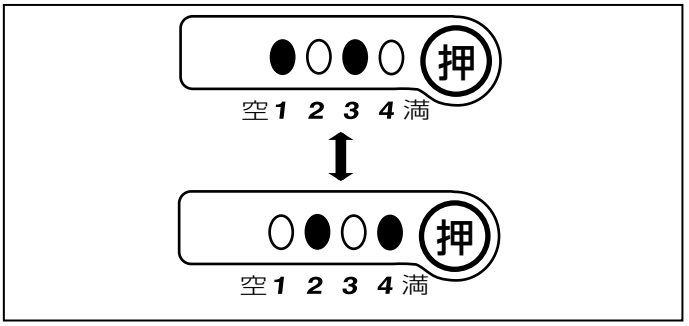
[1灯のみ速い点滅]

- 予備充電中



[交互に点灯]

- 温度異常により充電中止
  充電待ちの状態が長時間続いた場合に、バッテリー残量ランプが交互に点灯を始め、充電が中止されます。



要　点

- 充電器からバッテリーを取り外し、バッテリー内の温度が0～40℃の範囲におさまった頃、再度バッテリーを充電器に差し込みます。
- 充電が完了すると充電器の電源は自動的に切れます。使用しないときは、安全のためコンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
- 充電完了後は、屋外へ放置しないようにしてください。

長　期　間　保　管　す　る　と　き

- 長期間（1か月以上）にわたりPASを使用しないときは、バッテリー残量が1～2灯の状態で、バッテリーをPASから取り外して保管されることをお勧めします。（リチウムイオンバッテリーは、完全に放電した状態で長期間放置すると、寿命が短くなる場合があります。）
- バッテリーを使用しないで長期間保管する場合は、室内の涼しく湿気の少ない場所で保管してください。
- リチウムイオンバッテリーは、満充電の状態で高温下にさらされるのが特に苦手です。温度によって保管期間の目安が違いますので、下表を参考にして涼しい場所で保管してください。

保管期間	周辺温度
1か月未満	−20～50℃
1か月～3か月	−20～40℃
3か月以上	−20～30℃

- バッテリー残量を1～2灯にして、10～20℃くらいの状態で保管するのが最適です。
- PASからバッテリーを取り外しておく場合、PAS側のバッテリー装着部にほこりなどが付着しないよう、また端子などに水滴が付着して錆ないようにサイクルカバー（別売）をしてください。

長　期　間　保　管　し　て　再　使　用　す　る　と　き

長期間（1か月以上）保管して再び使用する場合は、使用する前日に必ず充電してから乗るようにしてください。（通常の充電よりも若干時間がかかる場合があります。）
また6か月以上保管して再び使用する場合は、お買い求め販売店で点検・整備（有料）をお受けになってからご使用ください。

YAMAHA
ヤマハ発動機販売株式会社
〒438-0016 静岡県磐田市岩井 2000-1
〒432-8058 静岡県浜松市新橋町 1103
株式会社 ワイズギア
TEL 053-443-2180　FAX 053-443-2187